

学研北生駒駅周辺まちづくり会議録

■日 時：平成 26 年 3 月 16 日（日）10 時～11 時 40 分

■場 所：北コミュニティセンター セミナー室 201、202

■出席者：出席者名簿参照

■会議の内容

1. 開会

2. 構成員の紹介について

事務局より、出席者名簿をもとに構成員の紹介を行った。

3. 案件

（1）学研北生駒駅周辺まちづくり会議 会則（案）について

事務局より、資料 2：会則（案）について説明を行い、承認いただいた。

（2）座長の選出について

副市長より、座長に松村先生（大阪大学）を推薦する旨の提案があり、承認いただいた。

あわせて、座長に就任された松村先生より、座長代理として以下の 3 名を指名された。

（座長代理）小紫副市長、山本都市整備部長兼開発部長、稲葉建設部長

（3）学研北生駒駅周辺のまちづくりの展開イメージ

事務局より、資料 3 をもとに当地区のまちづくりの展開イメージについて説明を行い、意見交換を行った。

〈意見交換の要旨〉

座長：まちづくり構想をつくるにあたり、どこにでもある金太郎飴のような構想になるのは良くない。この地域だからこそできるまちづくりを考えていくことが重要であり、そのためにも地元の方の意見を聞くことが大切である。

構想の作成プロセスもできるだけオープンにし、より多くの意見を聞く必要もある。そのため、本日は今後の進め方についてもご意見をいただけるとありがたい。

構成員：正直なところ、この会議で目指すべきところがイマイチわかっていない。

座長：この会議では、自分の土地や既に計画されつつある事業単位について考えるのではなく、この地区全体のまちづくりをどうしていくべきか、という点について意見をいただければと思っている。そういう意味では、ハードに対する意見というよりは、例えば、緑がいっぱいのもちにするために街路樹を多くする、といったハードな内容にもつながっていく意見をいただければと思う。

構成員：この地域に他にない特徴的なものがあれば活かしていく、といったことだろうか。それなら、例えば、この地域は金鷄発祥の地と言われているので、そういった歴史を大切にしたいまちづくりと言うのがあり得る。

座長：まさにそういうこと。この地域では何を大切にしたいまちづくりをしていくべきか、といった意見をいただきたい。その内容をふまえて、事務局でまちづくり構想に盛り込むべき内容として整理を行っていく。そういう事がないとまさにどの地域でも使えるような構想になってしまう。

構成員：周辺住民の方々にこの構想作成の経緯をしってもらうためにもニュースレター等を作ってはどうか。別の取組みだが、北中学校区で小中一貫校をつくる際も同様のやり方で周知を図っていた。自治会で回覧するなど周辺住民にも周知してほしい。
また、地権者と住民は立場が違う。この場に出てこない地権者の意見を聞くのは重要であり、その際は自治会が窓口になるのではなく、きちんと事務局が窓口となって対応をお願いしたい。

座長：ニュースレター等で周知を図るというのは大切。また、権利者の意見収集は事務局側できちんと対応を、という意見も事務局側で対応をお願いしたい。

副市長：ニュースレターについてはおっしゃるとおり。ホームページだけではなく紙媒体による周知も大切である。毎回の会議の様子についても、きちんと関係者には周知していきたい。また、本日、来られていない権利者に対する意見収集についても、対応をしていきたい。

構成員：学研北生駒駅が出来た際にこういう話が持ち上がってくるのなら分かるが、既に遅いのではないか。一体、生駒市はどういう事をしてくれるのか。自由に意見を、と言われてもなかなか何を言って良いか思い浮かばない。むしろ、事務局としての案を出してもらい、それに対する意見を言って欲しいというやり方の方がやりやすい。

山本部長：おっしゃるとおり。当初、時期的に学研高山地区の玄関口としての位置づけが微妙であったことも影響して、そういった動きにつながらなかった。
遅きに失したという意見もあるが、今からでも間に合うと思うので、手遅れになる前に一緒に構想づくりに取り組んでいきたい。

構成員：これを機会にみなさんと一緒に考えていくというのは大きなチャンスだと思う。この地域は新しく出来た白庭台や登美ヶ丘とは状況がかなり違う。先ほど、おっしゃられたように歴史もあり、旧上村の歴史も無視はできない。私たちも知らないことがたくさんあるので、地元の方々にはそういった歴史も教えて欲しい。

副市長：確かに、構想づくりのタイミングとしては駅が出来たころがベストであったと思う。だ

からといって何もしないよりは今からでも出来ることをきちんとすることが大切である。先ほどの歴史の話とか、地元の方々だからこそその意見を教えてもらいながら取り組んでいきたい。

構成員：最初に確認しておきたい。この構想づくりは、私たちの住んでいる土地を買い上げて一括して開発を行うということが前提なのか。

事務局：そういうことではない。また、既に出店計画を検討されている事業者もあるが、それをゼロベースから検討するという事でもない。

山本部長：補足すると、高山第二工区みたいに区画整理を行おうということではない。現にこのまま住み続けたい方もいるし、売って何か土地活用をしたいという方もおり、その意向はさまざまである。まずは、北生駒駅を中心としたまちづくりについてどうあるべきかといった声をうかがいたい。

座長：そもそも今のような個別バラバラの開発が進むのが良いのか、ということが前提としてある。もっと、みなさんが意見を出し合って、その思いをすり合わせる事ができれば良いまちづくりになるのではないかということ、そして、その思いを形にしたものがまちづくり構想となる。結局は言葉に過ぎないのではないか、という意見もあろうかと思うが、それが今後の計画や事業の中身を規定していくものになる。

構成員：先日の説明会でも意見としてあがっていたが、何も色が塗られていない・計画が決まっていない白抜きはわずかしかない。そういった状況のなかで、モノ申しても意味があるのだろうか。

座長：駅側に入口を設ける、街路樹を地域で揃える、といった意見は出来ると思う。ただ、立地場所を変えるといったところまでは出来ないだろう。

構成員：今、既に検討が始まっている内容については進めていくが、それ以外の部分について話をしていくということか。

座長：個別の計画に対して協議を進めていく上でも、「この地域はこういうまちづくりを目指している」と明示されたものがあつた方が言いやすい。結局、民間開発と協調するとはそういうことであり、その点においても、このまちづくり構想は意味がある。今後も愛着を持って住み続ける、利用したくなる地域にするためにはどういうまちにしていきたいか、ということを考えることが必要である。

構成員：これについては言うてはいけない、意味が無い、という事が最初にあると中々、発言ができない。出来る・出来ないは次の段階で判断すべきものであるので、まずは自由に意見

を言ってもらえるのも良いと思うが。

座長：確かにそのとおり。少し言い方に語弊があったかもしれないが、「言っても変わらない事については発言しないように」という事ではない。建設的な議論をしていただければと思っている。おっしゃるように、その内容が出来るか、出来ないかは次の段階で扱うことになるだろう。

構成員：「高齢者が増えてきているから、高齢者が買い物しやすいまちづくりを目指そう」といったテーマで発言しても良い。

構成員：商業施設の開発をするのであればきちんと手続きにのっとってやっていただければ良い。ただ、交通量の問題がある。既に交通渋滞が発生しており、交差点はパンパンな状態。開発をあわせて基盤整備が重要となるだろう。

(4) 学研北生駒駅周辺地区の現状について

事務局より、資料4をもとに当地区の現状について説明を行い、意見交換を行った。

〈意見交換の要旨〉

構成員：現状は道路整備が不十分である。工事中という事もあるが、あちこちで渋滞が発生しており、事故もみうけられる。県道なのできちんと調整をしてやってもらいたい。また、個人で損をしてまで協力はできない。遅い・早いの問題もあるが、過ぎたことを言っても仕方ないので、今以上に悪くならないように市もしっかりと取り組んでももらいたい。

座長：おっしゃるように誰かが損をしては意味がない。長期的にみて、個々の地権者さんもさることながらまち全体として儲かるような視点が大事である。また、交通問題が大事であるという指摘もいただいたので、今後のまちづくりにおける課題のひとつとして捉えたい。

4. 意見交換

構成員：国道163号より北側については、正直、見捨てられたような感がある。公共交通としてバスも走っているが、十分拾いきれない場所もある。暮らしに直結する問題であるので対応が必要。一方、登美ヶ丘をはじめ周辺にはスーパー等の商業施設が乱立しており、競争が激しい。お店単独ではなく地域全体が協力して取組み、利用者も利用しやすいまちになれば良いと思う。

座長：こういったまちづくりにおける研究成果によると、スーパー等の買い物施設だけでなく医療施設が近接していると上手くいく傾向があると言われている。そういうことも念頭におきながら、引き続き、議論していければと思う。

本日は、この会議の意味などについても数多く意見がもたらえた。今後は発言しやすい雰囲気

気をどうつくっていくか、より多くの意見をどう集めるかといったことも議論していければと思うので、次回以降も活発なご発言をお願いしたい。

5. 閉会

■今後の予定

次回の会議は5月以降を予定しているが、また追って調整をさせて頂きたく。

以上